

黒岩 岳雄

〔ふらの未来の会〕

農村観光環境都市形成に向けた事業推進は

問 事業実施財源の確保、（仮称）環境・観光税の取り組みと早期財源確保の方策は。

答 （仮称）環境・観光税は、景気の低迷や消費税の増税など社会情勢も踏まえながら検討するとともに、観光の推進を目的とした特定財源の手法の研究も行う国や道などの関係機関、関係団体の補助金活用も含め様々な角度から財源確保を検討したい。

富良野市観光経済調査報告書の評価及び課題と対策は

問 アンケートの課題と対策は。
答 バリアフリー等の環境整備要望は施設整備などの啓蒙を図る。観光客が安心して一人歩きできるＩＴの活用、多言語の案内看板、交通網の整備、自動車・自転車愛好家のニーズ対応は関係機関、団体と連携して取り組む。

問 冬期観光客入込拡大や通年

型観光地を目指した長期滞在への取り組みは。

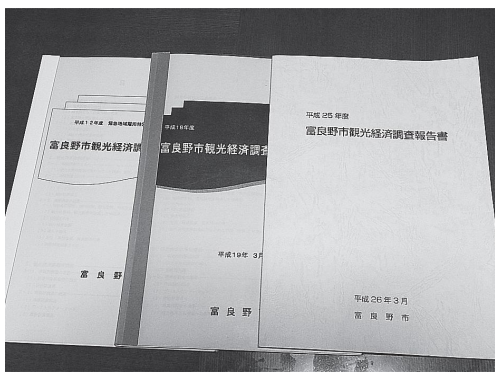
答 季節変動の少ない通年型観光に向け富良野の特色ある通年の個々の資源を生かして取り組む。広域観光により観光資源の連携を図り長期滞在を推進する。

問 観光経済効果が他分野に波及している実態や観光産業の重要性の周知は。

答 今回の調査結果を広報などを通じ市民事業者へ周知を図る。

問 経済波及効果を高めるための近郊市町村との連携は。

答 富良野美瑛広域観光推進協議会による広域での誘客や魅力あるプログラムの提供、満足度の向上を図りながら日本の顔となるブランド観光地域を目指す。



観光経済調査報告書

天日 公子

〔民主クラブ〕

予算編成と予算執行における基本的な考え方は

問 監査の決算審査意見を具体的にどのように反映するのか。

答 ①「第5次富良野市総合計画の推進」であり、平成27年度は、前期基本計画の最終年として、実施した事業の検証を踏まえ、計画に掲げる目標の達成に向けて、施策の推進を図る。

②「予算の重点化」である。限られた財源を効率的に活用するためには、施策の優先順位を洗い直し、無駄を徹底して排除しつつ、予算の中身を重点化することが重要。

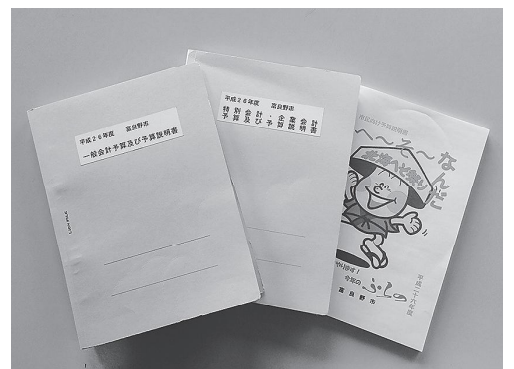
③事業を構築する際、戦略性に富んだ事業展開を行うために、積極的な情報収集とその分析に努め、十分な部内協議を経た上で熟慮を高めた予算化を図る。

問 各所管で事業を執行した後、の執行残を早期に把握して、当初、予算化されなかった市民に直結する事業や、緊急的な事業

を、補正予算で財源に振替えるべきと考えるが見解を聞く。

答 予算執行を進める中で生じた不用額や、歳入の増額を的確に把握し、新たに発生した財源を有効活用するため、補正予算において、当初予算以降、状況の変化等により、必要となった事業や緊急措置的な施策追加することは、財政運営上、極めて重要な事であり、これまでも、補正予算などによる柔軟な対応を行ってきた。今後においても、各担当部・課において「市民ニーズをよりの確に、正確に把握」した上で、補正予算を含め適正な予算執行に努める。

△その他の質問▽
・勤労青少年ホームの利活用は



予算書